厚生協会だより

2012年11月21日
第 316 号

発　行
㈶宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：長澤清光

いのちを大切にしたいから　ナースウェーブ11.10（フォーラス前）

2012年度
上半期の経営到達と下半期の課題

専務理事　**長澤　清光**

全役職員の皆さんの奮闘で上半期の経営結果は、各病院・事業所医師体制が困難な中で、事業収益74億31百万円と予算を80百万円超過し、経常損益が1億71百万円の黒字、予算目標を85百万円超過達成できたことに感謝申し上げます。

厚生協会の2012年度の経営目標は、「公益法人認可」と、それに相応しい健全で安定した経営構造を築くこと、長町病院建設計画を着実に進めるための利益確保を目標に取り組んできました。

公益法人認可は、審議する宮城県公益認定等委員会が11月28日に行われ、その結果が待たれますが、厚生協会理事会は2013年1月4日付けの法人移行の準備を進めています。今後はこれまで以上に公益的事業の推進と経営の透明性・健全性が問われることになり、民医連経営としての社会的役割の発揮に全力を尽くす決意であります。

1、上半期経営到達の特徴

■上半期の経常損益は、1億71百万円の黒字となり予算目標85百万円に対して86百万円の超過達成となりました。前年度の法人税未払分等の処理をした後の当期損益は1億3百万円余りの黒字となり、予算を19百万円超過する到達となりました。医師体制の困難な中、各事業所役職員の奮闘で予算を大きく超過する事業収益、経常利益を確保することができました。

■事業収益は、74億31万円と予算を80百万円超過し医業収益で予算を60百万円超過しました。

◇入院収益では予算比で52百万上回りました。入院収益の伸びは、診療報酬改定への対応で加算届出を行い日当円の確保で増収につなげたこと、入退院管理による病床稼動増の努力によるものです。

◇外来収益は予算比で12百万円程届きませんでした。患者数が予算に対して約5000人届いていないことが大きな要因です。医師体制が厳しい中、外来単位数の減少などが影響していますが、長町病院を除く全ての事業所で予算患者数に届いていない状況です。

◇介護収益は予算比19百万円増となっています。大震災の

表1　半期法人損益計算書

単位：百万円

科　目	累計実績	構成比	予　算	増減額	前年度実績	増減額
（入院収益）	4,210	56.7%	4,158	52	4,242	▲ 32
（外来収益）	2,137	28.8%	2,149	▲ 12	2,127	10
【医業収益】	6,700	90.2%	6,640	60	6,700	0
【介護収益】	727	9.8%	708	19	673	54
〔事業収益〕	7,431	100.0%	7,352	79	7,377	54
【人件費】	4,784	64.4%	4,769	15	4,699	85
【材料費】	872	11.7%	878	▲ 6	828	44
【委託費】	531	7.1%	536	▲ 5	522	9
【経　費】	670	9.0%	647	23	603	67
【リース料】	61	0.8%	67	▲ 6	70	▲ 9
【減価償却費】	271	3.6%	271	0	317	▲ 46
【消費税】	105	1.4%	112	▲ 7	110	▲ 5
〔事業費用〕	7,296	98.2%	7,282	14	7,148	148
〔事業利益〕	136	1.8%	70	66	229	▲ 93
【事業外収益】	80	1.1%	63	17	166	▲ 86
【事業外費用】	45	0.6%	48	▲ 3	45	0
【経常利益】	171	2.3%	85	86	350	▲ 179
【特別利益】	2	0.0%	0	2	69	▲ 67
【特別損失】	4	0.1%	0	4	80	▲ 76
〔当期利益〕	103	1.4%	85	18	339	▲ 236

影響により利用者数が減少し、前年度実績を基に利用者数を見込みましたが、予算を超えて利用者数の確保ができたことが予算超過の要因です。

■事業費用は、予算対比で14百万円程上回りました。人件費で予算を14百万円、経費で23百万円超過しています。人件費では診療体制維持のための非常勤医師給与の増もあり予算を31百万円超過しました。経費は器械保守料、水道光熱費等で予算を上回っています。材料費は医薬品費で予算を16百万円上回りましたが診療材料費で予算を17百万円下回り、全体で6百万円予算を下回りました。

■今年度経常利益予算は、2億18百万円です。年間事業収益予算を達成するために、各事業所での入院稼働目標、外来目標に責任を持った取り組みを強めること、時間外労働の是正など労働効率の改善を進めるなど費用管理の強化徹底が欠かせません。

2、各病院・事業所の患者数

入院患者数予算比較　単位：人

	坂	長町	泉	古川	合 計
2012年度予算	60,696	21,660	14,000	14,640	110,996
2012年度実績	60,117	21,325	13,822	14,626	109,890
予算比	-579	-335	-178	-14	-1,106
一日当たり	-3	-2	-1	-1	-6

外来患者数予算比較

	坂合計	長町	泉	古川	診療所群	歯科群	合 計
2012年度予算	119,511	30,380	20,250	25,650	27,410	22,447	245,648
2012年度実績	118,811	30,735	19,646	25,288	25,866	21,256	240,692
予算比	-700	355	-604	-362	-1,544	-1,191	-4,046
一日当たり	-12	6	-4	-5	-13	-9	-37

外来患者数予算比較

	くりこま	中新田	仙台錦町	福田町	若林	北部	合 計
2012年度予算	6,240	4,590	5,910	1,260	3,875	5,535	27,410
2012年度実績	5,930	4,357	5,802	1,118	3,395	5,264	25,866
予算比	-310	-233	-108	-142	-480	-271	-1,544
一日当たり	-2	-2	-2	-1	-4	-2	-13

3、各病院・事業所別状況

■**坂総合病院**は、当期利益で1億20百万円の黒字となり予算を16百万上回りました。事業収益では予算を32百万円程上回りました。入院収益は予算比で33百万円、101・2％上回り、前年比で4百万円100・1％上回っています。前進の要因は、手術稼働率、リハビリ充実加算、入退院管理でのベッド高稼働率の維持などの努力により、日当円予算43，232円を上回り45，082円となりました。外来収益は、一日あたり患者数886人の予算に対して873人と届きませんでしたが、日当円で9，477円の予算に対し9，520円と超過しました。事業費用全体では予算を20百万ほど上回り、特に経費で予算を22百万円程上回ったことが予算超過の大きな要因です。修繕費で5百万円、保守料で5百万円それぞれ予算を超過、下半期は、在院稼働320床目標を超過すること、経費の予算管理が課題です。

■**長町病院**は、当期利益で17百万円の黒字となり予算を37百万円ほど上回る到達となりました。入院収益で予算を12百万円ほど上回り、外来収益でも予算を7百万円程上回る到達となりました。入院一日当たり患者は目標120人に対して118.5人となり、入院日当円33，950円の予算に対して34，543円の到達となりました。診療報酬・介護報酬同時改定の対応として、回復期リハ入院料Ⅰ取得へ向けた準備や、セラピストの増員による稼動日数及び実施単位増等による対応努力の結果です。事業費用は予算を12百万円程下回りました。下半期は、医師配置増による入院稼動124床を確保すること、新病院建設にむけて収益予算確保が課題となります。

■**古川民主病院**は、今年度より医師体制が大きく変わってのスタートとなりました。上半期事業収益は予算に6百万円程下回りました。事業費用でも予算を4百万円超過し、経常利益で1百万円の赤字となり予算に7百万円程届きませんでした。入院収益で予算に1百万円、外来収益で予算を10百万円未達となりました。入院は、一般病床で一日当たり39床の目標に対し38・1床、介護病棟は41床の目標に対し41・2床となっています。外来患者数は一日当たり190人の目標に対して185人と予算に届きませんでした。日当円でも7，500円の予算に対し7，239円と下回ったことへの分析と対策が求められます。下半期は医師体制がさらに厳しくなります。外来患者数一日190人の確保と日当円予算確保、ベッド稼働目標の達成、通所リハ、健診数の確保が課題です。

■**泉病院**は、当期利益で18百万円の黒字となり、予算を14百万円程上回りました。入院収益は予算に7百万円程超過し、外来収益でも予算を5百万円程超過しました。事業収益全体では予算を

仮設住宅で定期的に健康相談会

13百万円程超過する到達となりました。入院日当円で予算の37，401円に対し38，481円と上回りました。50：1急性期看護補助加算、リハビリの初期加算・早期加算取得、CT件数増によるものです。外来は患者数で一日当たり150人の予算に対して145．7人、日当円で10，400円の予算に対して10，878円と超過し、外来収益予算を5百万円程超過しました。事業費用では予算を50万円程下回っています。人件費、材料費で予算を下回っていますが経費で予算を上回りました。下半期は稼働ベッドを1床増の予算となっており、入院を断らずに受入れられる一般病棟と、そこからスムーズに転棟できる回復期リハ病棟のベッド運用が重要です。

■診療所群は、昨年度と同様に赤字黒字の事業所が鮮明となっています。患者数予算には全ての診療所で届いていません。赤字事業所の黒字化への対策が急がれるとともに全事業所での無料低額診療事業所の届出・実施が課題です。

■歯科群は、3百万円の黒字予算に対して7百万円の黒字到達となり予算を上回りました。昨年からの医師賃金制度改定、古川歯科所長をはじめとした管理部の体制変更等も行い、黒字構造転換に向けた取り組みを進めてきた結果でもあります。引き続き予算収益確保に向けた取り組みが求められます。

4、下半期の改善課題

上半期は、事業収益の増加により黒字化を実現できましたが、幾つかの事業所で事業収益が予算を下回っており、下半期予算達成への不安定さが現れています。

下半期は、医師体制の厳しさも反映し、診療体制が厳しく予算収益の確保はとりわけ重要になります。各病院での上半期での病床稼働と入退院管理、費用管理等の目標管理が具体化される中での前進を堅持し、下半期の予算計画通りの取り組みを強めることが必要です。

全事業所、全部門・職場で下半期職場目標の再確認と行動計画を論議し具体化しましょう。効率的な業務執行に心がけ、時間外労働の是正など労働効率の改善を進めるなど費用管理の強化徹底など、冬場に向かって増加する固定費の削減に意識的に取り組みましょう。

同時に、私たちは医療や介護を通じて、日々、患者さんや利用者さん、地域住民の「健康」「いのち」「生活」と向き合っています。民主・自民・公明の三党合意で進めた「社会保障と税の一体改革」による消費税増税と社会保障の切り捨ては、国民の暮らしを破壊し、「第三極」を名乗る政党含め、圧倒的国民が最も望まない方向に突き進もうとしています。これほどまでに民意と国政が大きくねじれ、今の古い政治の枠組みを変えることなしに、平和を守ることも、暮らし、健康を守ることも出来ません。

年内解散・総選挙が濃厚になっている中で、民医連の事業所として、「原発再稼働の推進」「消費税増税と社会保障の大改悪」「復興予算の流用」「TPP参加」「危険極まりないオスプレイ強行配備」など、日本の将来にとって極めて重大な問題を許さない国民的運動を強め、今こそ政治を変える取り組みを強めましょう。

坂総合クリニック1号館会計窓口

表2　事業所別予算対比／前年対比

全　体　　単位：百万円

	事業収益			当期利益		
	実績	予算/前年	増減	実績	予算/前年	増減
坂合計	4,104	4,072	32	120	104	16
		4,112	▲8		225	▲105
長町合計	1,063	1,043	20	17	▲19	36
		1,073	▲10		▲2	19
古川	515	521	▲6	▲1	6	▲7
		520	▲5		13	▲14
泉	790	777	13	18	4	14
		786	4		28	▲10
診療所合計	323	315	8	▲9	▲24	15
		310	13		▲12	3
歯科合計	163	167	▲4	7	3	4
		128	35		▲30	37
訪問看護	262	257	5	19	8	11
		256	6		16	3
訪問介護	202	191	11	27	13	14
		181	21		8	19
事務局・公益	10	9	1	▲95	▲11	▲84
		10	0		94	▲189
協会合計	7,431	7,352	79	103	85	18
		7,377	54		339	▲236

表3　診療所別予算対比／前年対比(再掲)

単位：百万円

	事業収益			当期利益		
	実績	予算/前年	増減	実績	予算/前年	増減
くりこま	62	61	1	1	▲1	2
		58	4		▲1	2
中新田	49	51	▲2	▲4	▲1	▲3
		51	▲2		▲1	▲3
仙台錦町	69	65	4	7	3	4
		65	4		7	0
健診センター	28	26	2	▲6	▲11	5
		25	3		▲11	5
福田町クリニック	17	14	3	2	▲3	5
		16	1		0	2
若林クリニック	29	30	▲1	▲14	▲12	▲2
		25	4		▲10	▲4
北部診療所	70	68	2	3	1	2
		70	0		4	▲1
診療所合計	323	315	8	▲9	▲24	15
		310	13		▲12	3

各地域で大盛況！

第34回 坂総合病院友の会

子どもたちに大人気のバルンアート

病院とクリニック、中庭を会場に開催。オープニングは、夏の塩竈みなとまつりで優勝の「しおかぜ訪問看護ステーション」と「友の会踊りサークル」の「よしこの塩竈」。健康チェック、手洗いチェック、ハンドマッサージ、ネイル体験コーナーなど、どこも盛況。セミナー室では高野博女川町議会議員に「原発を考える～女川原発再稼働問題について」というテーマで講演していただきました。8階会議室では、南中クショー、ラーメン体操と、場内一体に大変盛り上がりました。最後は「クイズ野菜の重さ当て」の答え発表と抽選会がありました。

10月14日　750名

第21回 長町病院友の会

「ひらお一座」の寸劇"原発の再稼働は必要？"

ステージはブロックやサークルの出し物などで進行。日頃の練習の成果がいかんなく発揮されました。また、華麗なる「Dr平野井のマジックショー」に会場はあっと驚き。職員劇団「ひらお一座」は「原発の再稼働は必要？」をテーマに職員が熱演。特に、水戸部理事長が原発推進派の調査員役で登場し会場を沸かせました。模擬店も好評で、全てのお店で完売。バザーも、掘り出し物を探しに多くの人が集まりました。ステージフィナーレは、3月の「あすと長町仮設住宅」で青年ジャンボリーでも登場したチアリーディングサークル「クラップス」の軽快なパフォーマンス。会場が一体となって盛り上がりました。

9月30日　1200名

第14回 くりはら健康福祉友の会

本物そっくりの甲冑の展示

くりこまクリニックに程近いシャクナゲ荘で開催されました。まつり準備開始の頃は、季節はずれの雷鳴や雨もありましたが、ほどなく上がり絶好のまつり日和となりました。今年は、舞台では民話も加わり栗駒地域の昔話も紹介されました。私たちの健康まつりの特徴は、展示品が充実していることです。本物そっくりの甲冑や絵手紙、習字、紙人形、手作りこけし、キルトなど充実した展示は参加者の人気を得ています。今年は、まつり成功と「月間」成功をしっかり位置づけて取り組み3世帯が新規加入となりました。

10月21日　350名

第11回 若林健康友の会

シンポジウム「震災復興を語り合う」

オープニングは六郷「すずめ踊り」。はつらつ舞台に拍手喝采。震災復興の土台となる「住まい」「生業」の再建、「医療・健康」について3氏から話題提供を受けシンポジウムを開催。復興支援みやぎ県民センター綱島不二雄代表にもご参加いただきました。各催し物コーナーは、アコーディオン演奏と歌う会、本格的なお茶席、安くて綺麗なフラワーアレンジメント、採りたて新鮮産直市、子どもも楽しめる手作りおもちゃ、新聞ちぎり絵、骨密度測定は 41 名が受診。昼食は、恒例の無料「激うま豚汁」に舌つづみ。最後は「お楽しみ抽選会」。特賞は「新米2kg」。当選者には大きな歓声が飛びました。

10月21日　255名

友の会健康まつり

第13回 大崎健康福祉友の会加美支部

中新田幼稚園児の「虎舞い」

2年ぶりに小野田・やくらい文化センターにて開催。記念講演は「放射能から子どもを守るために」というテーマで矢崎とも子先生（坂病院内科医長）が講演。被曝の種類と影響、放射能から体を守り、外部・内部被曝を防ぎ減らすためにできること等わかり易く話していただきました。特別出演の中新田幼稚園児が演じた「虎舞い・よさこい」は来場者を和ませてくれました。会員さんの楽しみ発表会も会場を沸かせてくれました。最後は豪華お楽しみ抽選会をして、みんなで「ふるさと」「北国の春」を歌って閉会。健康チェックや各種模擬店も大盛況でした。

10月14日　500名

第16回 泉病院友の会

天気も良く来場者はゆっくり楽しめました

秋晴れの下、賀茂神社駐車場で開催。聖和短大のYOSAKOIや泉館山高校の演奏はとても素敵で迸るような若いエネルギーに魅了されました。友の会の各種委員会や各職場がチームとして企画に取り組んだことが注目されました。被災地支援につながる取り組みや、平和・反原発を訴える多彩な活動も目を引きました。恒例の「大鍋仙台イモ煮汁」や模擬店の焼きそば、チジミ焼き、モチなど、食べ物類はあっという間に完売。ただ今年は、福島原発事故の影響もあり「イワナの塩焼き」や「産直野菜の直売」がなくて残念との声も寄せられました。来年は、体力測定など健康コーナーもさらに充実させていきます。

10月14日　1000名

第18回 仙台錦町診療所友の会

広瀬俊雄先生が講演

「KKRホテル仙台」で今年も開催。会員・役員さんの盆栽、絵手紙、絵画、写真、手芸作品、ドールハウス、鉱石など展示されました。広瀬俊雄所長が「有害物質による健康被害と職場改善～印刷工の胆管がんにふれて」と題して講演し、特徴的な9事例について紹介。特に、作業環境や職業歴の把握の重要性が強調されました。また、会員さんのオカリナ演奏、詩吟、民謡など、さらに参加者全員合唱もあり交流を深めた1日になりました。

11月11日 80名

第７回 大崎健康福祉友の会遠田支部

山田裕先生が講演

会場は美里町本小牛田地区館。「放射能と健康被害」と題して、山田裕先生（こごた民主診療所所長）が講演。参加者は「医療の立場の人からの話しを初めて聞いた」と、とても熱心に聞き入っていました。特別出演は「西崎甲容会」の日本舞踊。模擬店はどこも大賑わいで完売。恒例の実行委員会による仮装行列「梅ちゃん先生」は会場をすごく和ませてくれました。最後は大抽選会。健康チェックコーナーも大盛況でした。展示コーナーも素晴しい作品に彩られ、多くの方が見入っていました。

11月11日　400名

見事なゴーヤのグリーンカーテン（友の会会館通路前）

さわやかエッセイ

「この夏は…」

泉病院診療サービス課　**鹿島　　進**

野菜を作りたい！

季節はぐっと戻って今年の夏です。我が家はマンション。ベランダは猫の額ほどの広さ。それにお構いなく、野菜を作りました。洗濯物スペースが無くなるくらいのところで、冷たい妻の視線を掻い潜りトマト１、ナス１、キュウリ２を作り始めました。しかし、狭い。もっと作りたい！でも、畑を借りて毎週手入れに行く時間も金もなく…。

そんなある日、友の会会館の光景が目に入りました。

おお！この日当たり。そういえば、昨年も一昨年も友の会会館は暑かったなあ…。もし、会館通路側のスペースにグリーンカーテンといわれるゴーヤを植えたらどうだろう…という妄想が頭を占め始めます。ゴーヤを植えたら少しは涼しくなりそう、実際グリーンカーテンとはどんなものなのか見てみたい、そんな気持ちもありました。さらに、病院玄関隅っこにひっそりと重ねてある通所リハで使わなくなった大型のプランターに土つめて…という感じで、６月初旬から悶々とする日々が続きました。

どんどん進める

いよいよ暑くなってきた６月末、意を決して管理部に「あの場所でゴーヤを作っていいか？」と聞くと、あっさりOK。

そうと決まれば、どんどん進めるだけ。とりあえずプランターを一通り洗い、あとは土と苗とネット。

売土はあるけれど、地下鉄、バス通勤の私が土袋を担ぎながら地下鉄に…さすがに躊躇。そんな私の目の前に、タクシー運転手兼農家のススムさんが！「そうだ、ススムさんの土なら栄養満点！」と思い相談したら、こちらも快くOK ！ススムさんには無理を言って、夜中に土をつめてもらいました。ありがとうございました。

そして苗。こちらもゴーヤの苗やらネットやら抱えて地下鉄というのも…ということで、太白区在住の職員が車通勤（？）するタイミングで苗を運搬することに。苗は家に置けないのでその日に購入。既に植え時の末期だったので、数が少なくほとんど伸びきった苗ばかり。そこから普通のゴーヤ３つ、そして白ゴーヤを１つ選びました。

病院で植えてみると、ひ弱な苗君たちに容赦なく降り注ぐ夏の太陽。たっぷり水をあげましたが内心「失敗しても元々」と、ちょっと諦め気味。

今までにない人のつながりが

それからは、通勤日は朝晩水をあげ、私が休日の日は当直者に朝だけでも…とお願いし水を欠かしませんでした。さらに、自主的に水をあげてくれる職員もいて。ほんとうにありがとうございました。

すると、なんとゴーヤの生命力の強いことか！気が付けばネット一杯に蔓が伸び、小さい実が。職員や来院される方から「実が成ってるよ！」と声をかけられるようになりました。時には「入院患者さんが見ていったよ」などの声も聞かれ、なんだかこそばゆい。

追肥のタイミングなどは、ススムさんや、水曜日に病院玄関前で野菜販売している農家の新田さんからいろいろアドバイスを受けました。本当にありがとうございました。

すっかり成長したくさんの実がついたゴーヤ。我が家では娘に嫌がられたため､消費は２個まで。そのため、職員中心に声をかけ、少々無理やり「食べてくだ さ～い」と渡しまくりました。

職員への声がけのネタにもなったし、野菜作りという共通の趣味で話が盛り上がり、今までにない人のつながりができ結構楽しめました。

８月末にはホームたまねぎを植えました。この文章がみなさまの目に留まる頃には丸々と肥えた玉ねぎが…と、今日も妄想しております。